

ながさわ
長澤 裕子
議員




問 まちづくり構想の共有と体制は

答 横断的な体制で構想を推進

さいとう
斉藤 祐揮
議員




問 保育所建て替えと充実した設備を

答 必要性を確認し今後検討する

ふくしのまちづくり基本構想は、特別養護老人ホームの建て替えにとどまらず、多世代が関わる地域共生の拠点整備と理解する。一方で事業費への関心が集まり、建物完成後に取り組みが始まるような印象もある。

整備を待つのではなく、町民や行政の意識と体制を今からでも整えていくことが重要と考える。構想理念の共有と説明のあり方、整備期間中のソフト面の取り組み、庁内の横断的な推進は。

○再質問
庁内の横断的な連携を育てていくとともに、本町ならではの顔が見える支え合うまちをつくる拠点としての視点を大切にしていこう考えはあるか。

中原町長
各課が横断的に課題を出し合い、多様な分野をつなぐまちづくりの視点で構想の実現に向けて進める。福祉にとどまらず、本町の将来を見据えた拠点になると思っている。



▲新施設整備予定地

保育所は築47年が経過し、増築や耐震改修等を重ねている。子育て世代が安心して預けられるように、乳幼児の入所者数に余裕を持った施設の建て替えは。

○再質問
現在は希望者全員が入所できていて、定員より増えた場合も職員の配置を工夫している。建て替えは将来の課題にしたい。

○再質問
日曜保育実施の考えは。

保健福祉課参事
以前アンケートで60%は「必要ない」と回答され、必要性について確認していく。

○再質問
旭川市「もりもりパーク」などの全天候施設導入の考えは。

中原町長
ふくし構想において子どもの居場所づくりがあるため、財政状況も考慮し今後検討したい。

○再質問
オムツの自動販売機導入を。

中原町長
あらゆる点を想定し今後検討していきたい。



▲旭川市こども向け屋内遊技場『もりもりパーク』

中原町長
全町民への説明会開催、補助金・過疎債・基金を含めた数字の提示、自治会への訪問説明を順次進める。

また、待つのではなく出向いて支援を届けるアウトリーチ型の取り組みを念頭に進める。